



吹田市総合計画 市民ワークショップニュース

NO. 1

発行：吹田市役所

日時：平成24年9月1日(土曜日) 午後1時～午後4時30分
場所：総合福祉会館 3階 保健センター研修室
参加者：17名

プログラム

- 1 開会・本日の進め方の説明
- 2 ワークショップ
- 3 休憩
- 4 感想発表・意見交換
- 5 本日のまとめ
- 6 終了



開会・本日の進め方の説明

木下行政経営部総括参事からあいさつ

吹田市の総合計画は2006年度から2020年度までの15年の計画となっておりますが、折り返し時期の今見直しを進めています。このワークショップで、行政の視点にはない、新しい発想をいただければと思います。よろしくお願いします。

事務局より本日の進め方の説明

本日は今から3つの班に分かれて、それぞれの班で、吹田の自慢や誇りを語っていただきます。できるだけ、具体的に挙げてください。



ワークショップ

「あなたの思う吹田の自慢や誇り、3分間語ってください」をテーマに3つの班で、話し合いました。様々な意見が出て、各グループで盛り上がりました。

話題・意見の整理作業は次回の第2回ワークショップで行います。今回は各班で出された主な意見について簡単にご紹介します。

1班 尾崎さん、小林さん、柴田(好)さん、榊田さん、宗さん、匿名希望の方1名

- ・ 起業の数が多いい。
- ・ 公園が多い(桜などの風景、遊び回る空間)。
- ・ 関西大学がある(イルミネーションや、敷地内の緑、学生など)。
- ・ 大学前のラーメン街。
- ・ 交通面で便利。
- ・ 町内のつながりが強く、助け合いの風習がある。
- ・ 景色のいいところや自然がある(神崎川からみる夕日、糸田川、ホテル)。

2班 有田さん、柴田(佳)さん、中川さん、信川さん、樋口さん、三木さん

- ・公園がたくさんある。
- ・お祭りが多い。
- ・保育、子育て、福祉の面で頑張っている。
- ・吹田の民話がある。(ただし、資料はあまりないらしい)
- ・図書館、体育館など公共施設が充実している。
- ・フリーライミングなどの専門的な施設もある。
- ・市外への交通は便利。



3班：秋山さん、小濱さん、東末さん、船越さん、山中さん

- ・交通の便がいい。
- ・公園が多く、ヒメボタル等がいる。
- ・企業の活動が活発。起業率が西日本で1番?である。
- ・大学生の町で、学生の市民に対する割合が多い。(西日本で1番)
- ・治安がいいイメージでブランド力を持っている。
(ただ、自転車の盗難は府下ワースト1位)
- ・吹田まつりでは、市民、企業、学生、行政が一体となっていて行っている。
- ・市民活動が活発である。(ただ、地域差はある)



感想発表・意見交換

各班から2人ずつ、ワークショップの感想を発表しました（ の写真）。

その後、参加者が他のグループで出た意見の内容を見て回りました。その際に、意見交換やアイデアの追加提案なども行いました（ 、 の写真、）。



本日のまとめ（近畿大学総合社会学部教授 久隆浩先生）

近畿大学教授 久隆浩先生から、本日のワークショップの内容についてお話をいただきました。

「一番」のことで見つけて、発信していこう

近畿大学では今、学生に入学したいと思ってもらえるように、プロモーションに力を入れています。まちも同じで、吹田市の魅力をどうやってアピールしていくか、自分たちのいいところをどうPRしていくかを考える必要があります。

意見の中でも出ていましたが、「何かで一番」というのは、魅力的なPRの要素になります。「市民一人あたりの が一番」等、少し工夫すると「日本一」が見つかるかもしれません。

ただ、いろいろなことをやっていこうとすると、どうしても資金が足りなくなります。アピールポイントを絞っていく、メリハリをつけるというのも大切です。市民のみなさんの考えはそれぞれ違うと思いますので、簡単ではありません。その中でも、押し出していけるものが見つけられたらいいと思います。

関心を持ってもらうために、まずは仲間づくり



また PR をする場合、人は自分に関係ないことには案外無関心です。例えば、今夏のオリンピックで近畿大学は関係者がメダルを7つ獲得しました。でもみなさん、あまりご存じないでしょう。知ってもらう・相手に届けるというのも一工夫が必要です。派手な冊子を作るだけでは、あまり届きません。それよりも私たちの一人ひとりが友達や仲間を増やすと、その友達たちは私たちの PR していることに興味を持ってくれるでしょう。地道なやり方ですが、効果的です。

市民が中心となった、柔軟でおもしろい取り組みを

最近若い人が、面白いイベントをやることが増えてきたように思います。先日学生を連れて島根、松江をまわりました。米子市のいわゆるシャッター商店街で、面白い店を若い人がやっていて、そこが地元の元気な人たちが集まる拠点になっていました。また、大和郡山市では、大金魚博覧会というイベントが市民の手で開催されています。大和郡山市は金魚すくい選手権大会で有名なので、金魚のアートを展示して楽しむというものです。このイベントに必要なお金は市民が調達して、PR も自分たちで行っています。市が所有している歴史的な資源（旧川本邸など）も活用されています。その建物は行政のお金がなくて耐震補強が行われていなかったため、安全面から長らく活用されていなかったものですが、イベント時に建物に入る人に誓約書を書いてもらうことにより、活用が可能となりました。市役所の方ではなかなかできないような、柔軟なやり方です。市民が楽しむ中で盛り上がっているいろいろな思いついたことを、実現されています。

吹田市でも、千里ニュータウンの50周年記念イベントは市民が中心となって準備されています。また、万博公園では、ロハスフェスタがにぎわっています。様々な取り組みは、テレビ・ラジオ・紙媒体のメディアが同じ情報を共有して発信するメディアミックスで市民に広がっています。

今回のワークショップでも、ぜひいろいろお互いに情報提供しあいながら、楽しんでやっていきたいと思っています。今回は山田、千里丘地区の話があまり出てきていないようですので、次回はそこも含めて、まんべんなく吹田が元気になるような、そんな話が出てきたらいいと思います。次回も、よろしくお願ひいたします。

次回に向けた連絡等

次回は、9月8日(土曜日)午後1時から、総合福祉会館 3階 保健センター研修室で行います。

当日参加が可能です！！

他の参加者から出てくるアイデアや意見を、みんなで楽しむような、わきあいあいとした雰囲気です。当ワークショップに興味・関心のある方は、ぜひご参加ください。

当日参加でも結構です。直接会場にお越しください。

ご不明な点があれば、下記までお気軽にお問い合わせください。

事務局・問い合わせ先

吹田市役所 行政経営部 企画政策室（総合計画担当）

Tel : 06-6384-1632（直通）

Mail : ks_sokei@city.suita.osaka.jp